

第3学年 「総合的な学習の時間」 ～いきいき～

1 テーマ 地域・郷土

2 単元名 地域に学ぼう

3 単元の目標 地域の昔の生活の様子を調べたり、高齢者の方々の知識や技術を学んだりすることによって、大坂を支えてきた人々を尊敬感謝するとともに、自分なりに地域のためにできることを考え行動することができる。

4 指導計画例 (全30時間)

過程	主な活動の流れ<形態> ・考えられる子どもの意識や反応	時期 時数	教師の支援 ※準備・用具・場所・人材等
課題の発見・設定	1 大坂について知っていることを話し合う 2 大坂の人口を知る。 ・現在の人口と数十年前の人口 ・現在の年代別人口の比較 3 大坂の高齢者の方々に学びたい事柄について話し合う	4月 (4II)	○ 大坂について知っていることを自由に出させ、人口については案外知らないことに気付かせる。 ○ 年代別の人口を知ることで、大坂には高齢者が多いことに気付くようにさせる。 ○ 高齢者の方々は、大坂を支えてきた人々であることを知らせ、その方々になにかを学びたいという意欲をもたせるようにする
課題の追究・解決	4 高齢者の方々に話を聞こう ・聞き取りに出かける ・招いて話を聞く ◎むかしの生活について ・仕事・楽しみ・遊び ・水・ゴミ・衣服・交通 ◎現在の生活について ・仕事・楽しみ・買物 ・心配なこと 5 高齢者や地域の方々に◇◇を学ぼう ・竹ぶえ・水鉄砲・紙鉄砲 ・竹とんぼ・お手玉・料理 ・簡単炭焼き・藁細工・苺作り ・凧・餅つき等 6 高齢者の方々とふれあおう<全校> ・招待状・七夕飾り作り・給食 ・司会進行・遊びを学ぶ・礼状	5月 ~6月 (9II) (7II) 7月 (6II)	○ 自分が何を一番聞きたいか、調べたいのか、目的をはっきりさせたいが、聞き取りの途中で内容が変わることも考えられる。 ・グループまたは個人のテーマ ○ 事前に訪問予定や目的を告げて、了解をとっておく。 ○ 訪問の仕方や言葉遣い等、礼儀について事前に話し合いをし、相手に失礼のないよう注意する。 ○ 人材リストを活用する。 ○ 事前の打ち合わせをしっかりとる。 ・竹・小刀・切り出しナイフ・布・裁縫道具・数珠玉・藁 ○ 費用は、事務主査と相談する。 ○ 自分たちが取り仕切るのだという自覚をもたせる。 ・校内での飾り作りを過重にしない
課題のまとめ・発展	7 お世話になった方に手紙を書こう 8 調べたことや資料の整理して、いきいきのまとめをしよう	7月 (2II) (2II)	○ お世話になったその都度書かせたいが、できない場合は、時間をとってそれぞれ必要な方全員に書かせる。 ○ いきいき発表会にむけて、資料の整理をする。 ○ 学習したものをまとめたり、反省したりして、次時の学習に生かすようにする。

総合的な学習指導案

第3・4学年 3年5名 4年8名 計13名

指導者 岩崎 雅彦

- 1 単元・題材 おじいさんから学ぼう (3/5 4/5)
- 2 目標 おじいさん方と竹で遊ぶ道具を作る学習をとおして高齢者と触れ合う楽しさを感じ取るとともに高齢者のすばらしさに気づくことができる。
- 3 本時

過程	学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ（支援）・評価（※）
課題の 発見・ 設定	1 始めの挨拶をする。	↑ 5 分	○ 日直の合図で、元気よく挨拶をさせる。 （おじいさん方にも） ○ みんなのためにきてくださったことに感謝の気持ちを持たせる。 ○ 前時の杉の子学習を思い出させ、本時の学習の確認をさせる。 ・七夕集会で高齢者から、昔の遊びについて話を聞き作って遊んでみたいと思ったこと。 ・作ってみたい遊び道具を話し合ったこと。 ※ 遊び道具を作る活動の意欲を持つことができたか。
	2 おじいさん方の紹介をする。		
課題の 追 究 ・ 解 決	3 学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">おじいさんといっしょに、遊び道具を作って遊ぼう。</div>	↓	
	4 遊び道具の班づくりをする。 ① 水てっぼう班 ② 空気てっぼう班 ③ 竹笛班 5 班ごとに作り方を話し合い発表する。 ・竹の切り方や使い方 ・作り方 ・図をかく 6 班ごとに遊び道具づくりをする。 ・竹を切る ・材料をそろえる ・組み立てる 7 他の遊び道具づくりに挑戦する。 ・水てっぼう ・空気てっぼう ・竹笛		
課題の ま と め ・ 発 展	8 おじいさん方と作った道具で楽しく遊ぶ。 ・作ったものを外でためす。	↑ 3 5 分	○ 遊び道具がうまく作れたか遊びを通して確かめさせる。 ○ おじいさん方と楽しく遊びふれあう中で、感謝と尊敬の気持ちをもてるようにさせる。 ※ 自分の言葉で、お礼や感想を言うことができたか。 ○ 今後も地域の方々やおじいさん・おばあさん方に積極的にかかわり、学ぼうとする気持ちを持つことができるようにさせる。 ○ 本時の学習をふり返り、今後もお年寄りの方々との交流やふれあいを大切にする意欲を持つことができるようにさせる。
	9 作って遊んだお礼や感想を発表する。		
評価	10 先生の話聞き、本時の学習をまとめる。	↓	○ 協力しあって、後始末ができるようにさせる。
	11 後始末をする。		
評価	○ 形成的評価をしながら、支援・評価の視点に添った指導を行い目標の達成を目指す。		

大坂小学校 人材リスト

分野	人材名	教科・領域・行事等
竹細工	盛満春男 (盛満翔君の祖父) 宮内三郎 (小山賢太郎君の祖父) 東久保賀 (東久保英里さんの祖父) 梅井博美	
大坂の歴史 " " 遺跡 " " 相撲	芳尾慶一 (公民館長) 永田辰志 (峰仙社長) 梅井博美 池田三男 (大坂相撲協会会長)	
昔の遊び 七夕のお話	高齢者学級 (上拾石忠雄) 及び高齢者	
たこ作り しめ縄作り 草履作り	津久田克敏 鈴木信男	
紙細工	鮫島君代 鈴木カツエ 西迫サツエ 肘岡真由美	
工場で働く人々	鈴木パッケージ	
料理	上拾石ヒデ 梅井裕子 古市孝子	
戦争体験談	梅井行夫	
野菜作り	梅井トシ	
炭焼き体験	丸田義則 丸田 明 山口和人 松元富夫	
果物栽培	南谷豊 (いちご) 大坂喜春 (ぶどう)	
郵便関係	鮫島義昭	
茗荷作り	上拾石忠雄 (高齢者学級長)	
国際理解	中園マキ (高校生) 山口太 (高校生) ミリアナ・グラカバック (町援 ALT)	
稲刈り体験	西迫文雄 (民生委員)	

※ ボランティアとしての協力を依頼する。